

# 学校だより

11月号

港区立白金小学校

発行人 吉野 達雄

令和元年十月三十一日

ノーサイドの精神

校長 吉野 達雄

ラグビーのワールドカップも決勝と三位決定戦を残すのみとなりました。日本チームのベスト8の躍進は、日本中を盛り上げ、感動を与えてくれました。私は、ラグビーのノーサイドの精神が大好きです。試合が終われば、敵も味方もなくみんな仲間である、本心に素敵ですね。心身ともに鍛えられた素晴らしいスポーツだと思います。

## 【子供たちの体力向上に向けた意図的な取組】

経済や科学技術の飛躍的な発展により、生活全般に必要なことをAIがすべて行う、豊かで便利な時代がすぐそこまで来ています。一方で便利さゆえに、私たちが自ら体を動かす必要がなくなり、活動量が減ってきている状況があります。これでは、子供たちの体力が低下しても仕方がないと思ってしまう。

これからの時代は、意図的に体を動かし、健康を考えたい生活を送り、体力を高めていかななくてはなりません。ライフスタイルが多様化している今、昔のように日常生活の中で子供はたくさん遊び、体力が高まっていく時代ではないのです。

体力・運動能力調査の結果を見ると、本校の子供たちは概ね全国の平均を超えています。全国的傾向と同様にボール投げと握力に課題があります。学校ではもちろんのこと、ぜひ家庭でも体力向上に向けての意図的な取組を考えてください。

## 【今年度二回目の「ふれあい月間」】

十一月は、東京都教育委員会が定める「ふれあい月間（いじめ防止強化月間）」です。いじめ問題については引き続きしっかり考え、解決に向けて教職員一丸となって取り組んでいきますが、今回は「人とのかわり方」を改めて考えてみる機会にしたいと思います。トラブルや些細なケンカは、子供たちの世界にはつきものです。それを自分たちで上手に乗り越えることが人とのかわり方を学ぶことにつながります。そのためには、大人はできるだけ見守りに徹することが大切です。自分たちの力で「ノーサイド」にすることが子供たちの将来のためなのです。これからの社会を生き抜くための大きな力になるのです。

## 展覧会について

展覧会委員長 山崎 真希

今年度より秋の大きな行事として展覧会が加わりました。展覧会、音楽会、学芸会を3年周期で行っていきます。どの学年も展覧会は初めての経験となり、4・5・6年生にとっては、今回が最後の展覧会でもあります。

今年度の展覧会のテーマは「思いを形に」としました。展覧会は、作品制作を通して「思い」を形に表すことで一人一人が輝く行事です。一つ一つの作品には子供たちの「思い」が込められています。子供たちは造形活動を通して発想を広げたり、深めたりしながら考えています。同じ条件で同じテーマの絵を描いても、決して同じ表現にはなりません。だからこそ、そこに個性があり、価値があるのです。展覧会は、子供たち一人一人の個性や輝きを認め合える絶好の場になると思います。

会場には、個人の平面作品、立体作品の他に、学年毎に取り組んだ共同作品も展示します。ぜひ一人一人の良いところを鑑賞いただくと共に、展示会場全体の雰囲気もお楽しみいただければと思います。

日程

十一月二九日（金）

九時～十六時（十二～十三時を除く）

十一月三十日（土）

九時～十五時

※詳しくは後日お知らせを配布いたします。

## ふれあい（いじめ防止強化）月間

生活指導主任 花井 拓也

十一月は今年度二度目となるふれあい月間です。ねらいは、次の二点です。

①児童一人一人が自ら進んで、友達や他学年の児童に対して思いやりのある言動がとれるようにすること

②学級・学年・学校の一員としての自覚を高め、健全で豊かな心を育むこと

今年度、小学校でいじめと認知された件数は、増加傾向にあると報道されました。

本校では、未然にいじめを防ぐために毎月アンケートを実施しています。今月のアンケートは、悩みなどがある場合には、自分が話したい先生を選び、SOSを発信しやすいようにします。また、四年生以上は、ハイパーQ Uも実施します。

担任による全員面接を実施し、いじめに発展しそうな小さな芽も見逃さず、その後の様子をしっかりと見守るようにします。

前回、各学級で考えたふれあい標語をもとに、今年度学級の様子を子供たちと見つめ直す時間を設けます。ふれあい月間中は、特に言葉づかいや友達との関わりについて振り返る活動を充実させます。児童がよりよい学校生活を送ることができるよう、引き続き身を引き締めて指導していきたいと思

います。

